

各市町農業総合指導推進会議会長
福井県農業協同組合中央会長
福井県経済農業協同組合連合会代表理事理事長
福井県農業共済組合長
各農業協同組合長
福井県土地改良事業団体連合会長

} 様

福井県農業総合指導推進会議
会長 酒井 智吉

園芸施設の雪害防止対策の徹底について

日ごろから、本会議の事業推進に特段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新潟地方气象台によると、5日頃からは強い寒気の影響で大雪となるおそれがあります。1月12日の積雪により園芸施設の被害があったことから、今後の積雪に対して油断なく警戒することが重要です。

つきましては、園芸施設等の雪害を未然に防止するため、関係者や農業者への指導の徹底をお願いします。

2月2日5時 福井県の週間天気予報

日付	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	
福井県	晴のち曇 	曇時々雪か雨 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇一時雪 	
降水確率(%)	-/10/10/10	10/60/60/30	80	90	80	70	60	
信頼度	/	/	A	A	A	B	C	
福井	最高(°C)	8	4	2 (0~3)	1 (-1~2)	1 (-1~3)	1 (0~3)	2 (0~4)
	最低(°C)	/	-2	-1 (-3~1)	-2 (-4~-1)	-4 (-6~-2)	-4 (-7~-2)	-4 (-8~-1)

北陸地方週間天気予報

平成30年2月1日16時35分 新潟地方气象台発表

予報期間 2月2日から2月8日まで

向こう一週間は、冬型の気圧配置の影響で、曇りや雪の日が多いでしょう。

なお、5日頃からは強い寒気の影響で大雪となるおそれがあります。

最高気温・最低気温はともに、期間のはじめは平年並か平年より高いですが、その後は平年より低く、かなり低い日もあるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

<担当>

福井県生産振興課 福田、田中

TEL 0776(20)0431

各農林総合事務所長
嶺南振興局農業経営支援部長
二州農林部長
農業試験場長
畜産試験場長

}

様

福井県農業総合指導推進会議
会長 酒井 智吉

園芸施設等の雪害防止対策の徹底について

新潟地方气象台によると、5日頃からは強い寒気の影響で大雪となるおそれがあります。1月12日の積雪により園芸施設の被害があったことから、今後の積雪に対して油断なく警戒することが重要です。

つきましては、園芸施設等の雪害を未然に防止するため、関係者や農業者への指導の徹底をお願いします。








また、下記関係機関に同様通知しましたのでご了承願います。

記

各市町農業総合指導推進会議
福井県経済農業協同組合連合会
各農業協同組合

福井県農業協同組合中央会
福井県農業共済組合
福井県土地改良事業団体連合会

2月2日5時 福井県の週間天気予報

日付	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	
福井県	晴のち曇 	曇時々雪か雨 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇時々雪 	曇一時雪 	
降水確率(%)	-/10/10/10	10/60/60/30	80	90	80	70	60	
信頼度	/	/	A	A	A	B	C	
福井	最高(°C)	8	4	2 (0~3)	1 (-1~2)	1 (-1~3)	1 (0~3)	2 (0~4)
	最低(°C)	/	-2	-1 (-3~1)	-2 (-4~-1)	-4 (-6~-2)	-4 (-7~-2)	-4 (-8~-1)

北陸地方週間天気予報

平成30年2月1日16時35分 新潟地方气象台発表

予報期間 2月2日から2月8日まで

向こう一週間は、冬の気圧配置の影響で、曇りや雪の日が多いでしょう。

なお、5日頃からは強い寒気の影響で大雪となるおそれがあります。

最高気温・最低気温はともに、期間のはじめは平年並か平年より高いですが、その後は平年より低く、かなり低い日もあるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

<担当>

生産振興課 福田、田中

TEL 0776(20)0431

園芸施設の雪害防止について

平成30年2月2日
福井県農業総合指導推進会議

- 雪害防止作業を行う際は、作業者の安全確保を最優先に対策の徹底を図る。
- 今後の積雪に備え、隣接道やハウス周りに積もっている雪を速やかに取り除く。
- 支柱を立てるなどハウスを補強し、ビニールのたるみや傷みを点検・補修する。
- 降雪中はハウスを閉め切り、家庭用ストーブなどで加温し、屋根雪の滑落を促す。

1 ハウスの補強

- ・3～4m程度の間隔で支柱を立ててハウスを補強する（図-A）。
- ・積雪荷重により肩部が広がると倒壊しやすくなるので、3～4m程度の間隔でワイヤー等により引き付ける（図-B）。

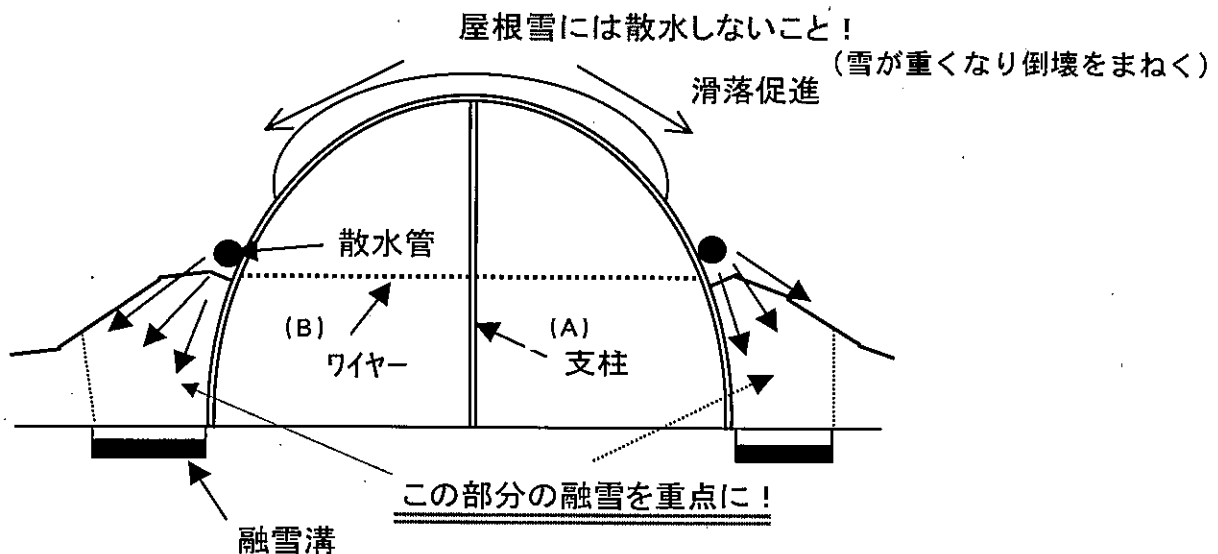


図 ハウスの雪害対策

2 積雪対策

(1) 屋根雪の滑落促進

- ・ハウスは閉めて保温する。内張りカーテンがある場合は開放する。
- ・家庭用ストーブ等を活用し、ハウスを加温する。
- ・ビニールの弛んだ部分や天窓に積雪した場合は、早めに人力で除雪する。

(2) ハウス回りの除雪

- ・融雪パイプがある場合は、側面に堆積した雪に散水する。屋根雪に散水すると倒壊するため絶対にしない。
- ・屋根部まで積雪しないよう、ハウスの側面はこまめに除雪する。屋根部まで積雪した場合は、重みが片寄らないようにハウス両側を均等に除雪する。

(3) 沈降圧防止

- ・ビニールを除去してあるパイプハウスでも、積雪による沈降圧で変形したりするので、パイプを早めに掘り出す。

3 その他

- ・耐雪仕様でないハウスでは、倒壊を防ぐため早急にビニールを外す。